

5 年のまとめ

基礎

かいとう

1

(1) 14.7

(2) 42

(3) $\frac{5}{20} + \frac{8}{20} = \frac{13}{20}$

(4) $\frac{5}{6} - \frac{2}{6} = \frac{3}{6} = \frac{1}{2}$

2

(1) $10 \times 3.14 = 31.4$

答え： 31.4cm

(2) $3 \times 3 = 9$

答え： 9cm^2

5 年のまとめ

標準

かいとう

1

$$(1) 25.12 \div 3.14 = 8$$

答え：8cm

$$(2) 8 \div 2 = 4$$

答え：4cm

2

$$15 \text{ 分は } \frac{15}{60} = 0.25 \text{ 時間 } 1.2 \div 0.25 = 4.8$$

答え：時速 4.8km

3

$$18 \div 0.45 = 40$$

答え：40 人

5 年のまとめ

応用

かいとう

1

(1) 側面の横の長さは底面の円周と等しい。 $4 \times 2 \times 3.14 = 25.12$ $25.12 \times 10 = 251.2$

答え：251.2cm²

(2) $4 \times 4 \times 3.14 = 50.24$

答え：50.24cm²

2

A 店：500mL = 0.5L $160 \div 0.5 = 320$ 円/L

B 店：450 ÷ 1.5 = 300 円/L

320 > 300

答え：B 店

5 年のまとめ

思考力

かいとう

1

(1) 円の直径は 10cm なので、半径は 5cm。 $5 \times 5 \times 3.14 = 78.5$ 答え：78.5cm²

(2) 正方形： $10 \times 10 = 100$ $100 - 78.5 = 21.5$ 答え：21.5cm²

2

(1) $1000 \times (1 + 0.2) = 1000 \times 1.2 = 1200$

答え：1200 円

(2) $1200 \times (1 - 0.1) = 1200 \times 0.9 = 1080$

答え：1080 円

(3) $1080 - 1000 = 80$

答え：80 円

5 年のまとめ

まとめ

かいとう

1(1) **36**(2) **6**(3) $2\frac{4}{6} - 1\frac{5}{6} = 1\frac{10}{6} - 1\frac{5}{6} = \frac{5}{6} = \frac{\mathbf{5}}{\mathbf{6}}$ **2**

$$8 \times 6 = 48$$

答え：**48**cm²**3**

$$4 \times 4 \times 3.14 = 50.24$$

答え：**50.24**cm²

5年生のまとめ～重要ポイント解説～

5年生で学習した算数の重要事項を総復習します。6年生に向けて、苦手をなくしておきましょう。

1. 小数と分数

- » 小数の計算: かけ算では小数点の移動（積の小数点の位置）、わり算ではあまりの小数点の位置に注意しましょう。
- » 分数のたし算・ひき算: 分母がちがうときは、必ず通分してから計算します。答えは約分しましょう。

2. 割合と単位量あたりの大きさ

- » 割合の3用法:
 - － 割合 = 比べられる量 ÷ もとにする量
 - － 比べられる量 = もとにする量 × 割合
 - － もとにする量 = 比べられる量 ÷ 割合
- » 単位量あたりの大きさ: 「1人あたり」「 $1m^2$ あたり」など、基準を1にそろえて比べます。

3. 図形と面積・体積

- » 体積: 直方体 = たて × 横 × 高さ
- » 円周: 直径 × 3.14
- » 角柱・円柱:
 - － 展開図をかいたとき、側面の横の長さは、底面のまわりの長さと等しくなります。

学習のヒント

「割合」と「単位量あたりの大きさ」は、日常生活でもよく使われる重要な考え方です。特に「何がもとになっているか（1にあたるもの）」を意識して文章題を読み解く練習をしましょう。